

平成 21 年度日本光学会総会

平成 21 年度総会は 2010 年 3 月 18 日(木)に東海大学において開催され、まず谷田貝幹事長より幹事長挨拶が行われたのち、今年度の動向についての説明がありました。

- ・引き続き経済状況が厳しい中であって、各企画への参加者がなかなか伸びないが、光学会の発展と会員へのサービス向上を目指し継続的に努力していく。
- ・会員数も微減の状況が継続的に続いているが、若い研究者をはじめ会員を増やしていきたい。
- ・OPJ2010 では、SPIE の会長を招いて特別講演を企画した。グローバル化が進む中で、日本光学会として、今後もさらに国際化を展開していきたい。
- ・最後に任期を無事全うすることができ皆様方のご指導、ご協力に感謝の意を表したい。
- ・厚海庶務幹事(総務)より平成 21 年度事業報告および平成 22 年度事業計画、向井会計幹事より平成 21 年度決算報告、飯塚会計幹事より平成 22 年度予算案が提示され承認された。
- ・総会に引き続き、平成 21 年度光学論文賞授賞式が行われ、内田淳史氏(埼玉大学)と藤田克昌氏(大阪大学)が受賞された。授賞式終了後内田氏と藤田氏による光学論文賞受賞記念講演が行われた。

なお、日本光学会の平成 21 年度事業および平成 22 年度の計画などに関する情報は、第 39 巻第 7 号の「日本光学会平成 21 年度年次報告」に詳細が掲載される予定です。